

# 住吉北部あんしんすこやかセンター

令和5年度住吉北部あんしんすこやかセンター事業運営状況について、下記の通り報告します。

## 1 令和5年度総括

### ○ 住吉北部の概要

住吉北部（住吉本町・住吉山手・住吉台・渦森台）圏域を担当しており、3月末の高齢者人口が6,470人で昨年度とほぼ同様で、高齢化率については33,7%と変わらず東灘区トップの地域であり、特に住吉台地区や渦森台の一部の地区では高齢化率は40%を超えており、高い傾向は変わりません。

介護予防プラン管理数においては、月平均が400件で昨年度と比べて平均30件程度増加しています。新型コロナウイルスの影響はなくなり、予防給付及び総合事業ともに新規利用者が増えています。

センター事業としては、相談対応件数は月平均320件ぐらいですが、昨年度に比べて増加しており、特に入所・退所相談、実態把握、消費者被害相談件数がかなり増加しています。ケアマネジメント支援や困難事例の対応については、月平均15件程度の事例があり、昨年と同様となっています。

### ○ センター事業目標

令和3年度からの長期目標（3年間）は「個人それぞれが助け合いの意識をもち、お互い声掛けができるような活気のある地域になる」で、短期目標は「継続的にイベントや企画を開催して住民自らが意見をだせる」「関りの少ない地域へアプローチを行い現状について住民と話し合う」「地域活性化のために住民と協力しながら多世代交流を実施する」「住民・他機関も巻き込み、フレイル予防、認知症予防、見守り活動について考える」です。

また、それぞれの地域目標は下記の通りです。

#### （住吉台）

住吉台マルシェを住民主体で開催する。住吉台県営住宅でのつどいの場の立ち上げ支援をする。

#### （住吉本町）

住民のニーズ特性を理解し、住良本町ネットワークと連携しながら住民の求める形で集いの場やフレイル予防の情報を広めていく。

#### （渦森台）

地区内の小学校と多世代交流を企画し、高齢者と小学生が関われる機会をつくる。

渦森台3・4丁目の実態把握を行う、何が必要か住民と一緒に考える機会をもつ。

ゴミサポをCOOP助けタッチへ移行して継続できるようにサポートする。

#### （住吉山手）

地区内の中学校と多世代交流を企画し、高齢者と中学生が関われる機会をつくる。

他事業所や支援者を巻き込みながら、集いの場を増やすこと、現在実施している集いの場が継続できるようにする。

実施結果は以下の通りです。

(住吉台)

4月と8月に地域ケア会議を開催し、住吉台マルシェを10月 12月 3月に開催することができました。県営住宅については、418枚のセンター広報やチラシを配布しました。

(住吉本町)

昨年度と同様に住良本町ネットワーク会議を毎月開催し、ふらっと住良本町の開催やふらっとマフの会の新規立ち上げ支援、フレイルの啓発というテーマで住吉本町内にある薬局や介護サービス事業所関係者と9月に地域ケア会議を開催、11月に介護の日としてフレイル予防のイベントを開催し、広報啓発に努めました。

(渦森台)

渦森台2丁目の見守り活動について、住民同士の見守り活動が難しい状況ですが、コープや電気店、新聞配達店等連携を深めることと併せて、住民の皆さまが主体的にゆるやかな見守りをしていただけるように広報啓発をすることができました。

(住吉山手)

住吉山手地区は地区によって特徴があり、地区を超えて住民同士のつながりの場を作ることは難しい状況で、待合おしゃべり会を定期的で開催できるように後方支援をしていますが、参加者が減少や住民主体性の低さが見受けられました。

○ 神戸市による運営評価について

令和5年5月にありました令和4年度の運営評価については、書類の提出不備の指摘がありましたが、概ね問題はなかったです。

主な事業実績については、以下の通りです。

## 2 年度利用状況について

### (1) 介護予防支援事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防給付	235	238	243	254	251	253	271	257	255	251	248	253	3,009
総合事業	139	141	145	160	152	152	151	154	151	153	152	147	1,797
合計	374	379	388	414	403	405	422	411	406	404	400	400	4,806
新規数	12	12	12	12	9	12	17	4	9	6	10	16	131
前年比%	104.5	105.3	104.6	113.1	108.3	109.5	108.2	106.2	106.7	106.0	109.0	108.4	107.6

### (2) 相談対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合相談	234	258	208	150	177	120	141	135	147	120	176	161	2,070
介護予防	49	57	45	28	38	54	42	25	36	56	45	44	543
権利擁護	31	29	11	5	5	6	5	4	4	2	1	16	122

ケアマネ ジメント 支援	32	30	20	38	12	12	21	13	14	9	11	21	232
地域 支えあい	9	5	11	10	14	7	13	21	5	10	9	6	102
認定申請	55	44	33	28	44	34	28	40	40	30	29	34	421
その他	36	48	37	39	39	28	26	9	21	24	21	18	359
合計	446	471	365	298	329	261	276	247	267	251	292	300	3,849
前年比%	179.8	165.3	137.7	103.5	120.1	85.0	91.7	108.3	91.1	102.9	82.5	89.0	111.8

### (3) 地域ケア会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	4
参加人数	11	0	0	0	7	26	0	0	0	0	5	0	49

### (4) 広報啓発の内介護予防普及啓発に関すること

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	15	293	15	2,060	7	10	796	412	60	59	76	1,493	5,296
参加人数	210	293	382	2,060	44	429	796	412	60	59	76	1,493	6,277

### (5) 介護リフレッシュ教室

	1	2	3	4	5	6	合計
開催日	6/6	7/27	11/22	12/20	2/13		5
参加人数	6	6	6	8	7		33

## 3 職員体制

主任ケアマネジャー	2名（1名は兼務）
社会福祉士	3名（1名は社会福祉士等）
保健師	1名（休職中）
看護師	2名（1名は兼務）
地域支え合い推進員	1名
介護予防支援担当ケアマネジャー	2名
事務員	1名

保健師が7月末産休・育休にて休職中

看護師を8月より採用

社会福祉士が7月末で1名退職 11月に1名採用

事務員（パート職）を10月に採用

#### 4 令和4年度事業実施状況について

##### (1) 職員研修の実施について(職員資質向上)

センター内では、職員資質の向上と情報共有を目的に、月1回センターミーティング・ケース検討会議で困難事例を検討しました。また、センターや行政主催で会議や研修、法人内及び法人外研修には31回延べ52名の職員が参加しました。主な内容は以下の通りです。

##### 1) 神戸市・東灘区及びあんしんすこやかセンターが主催する主な研修

日時	会議内容	出務職員
7/6	ACPの理解を深める研修	伊賀 吉岡
8/21	令和5年度神戸市高齢者虐待対応に係る研修会(帳票)	荷本
8/23	令和5年度神戸市認知症地域支援推進員研修	荷本
9/1	あんしんすこやかセンター運営管理者研修	伊賀
9/12	個別避難計画作成研修	吉岡
9/28	あんしんすこやかセンター職員初任者研修	有松
10/23	東灘区高齢者虐待対応力向上研修	伊賀 小菌 桃田
10/31	あんしんすこやかセンター職員初任者研修	清水
11/13	東灘区暴力対応研修	吉岡・岡島・桃田
11/13	神戸市介護予防ケアマネジメント従事者新任者研修	清水、鈴木
11/29	口腔ケア研修	吉岡
11/30	認知症サポーター養成講座	清水 鈴木
12/26	あんしんすこやかセンター職員初任者研修	鈴木
12/26	神戸市介護予防・フレイル対応研修	岡島
2/21	障害の理解を深める研修	吉岡 鈴木
2/25	神戸市若年性認知症支援研修会	荷本
3/13	令和5年度テーマ別研修全市発表会	吉岡

##### 2) 神戸市・東灘区及びあんしんすこやかセンター以外が主催する主な研修

①法人内研修 全職員 高齢者虐待防止及び個人情報保護研修、ハラスメント研修等

##### ②法人外の主な研修

日時	研修内容	出務職員
6/27	DNAR啓発研修	伊賀
11/23	カスタマー・ハラスメントの基礎を学ぶ	桃田
1/26	第2回東灘区在宅医療塾「介護医療院について学ぼう」	鈴木
2/23	人生会議市民啓発研修	伊賀
3/16	神戸市介護保険制度説明会	伊賀

(2) センター業務については以下の通り

1) 介護保険要介護・要支援認定申請代行

421 件の申請代行業務を実施しました。昨年度より 40 件ほど減少しています。

2) 総合相談支援業務

総合相談支援事業は、地域の高齢者が、住みなれた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、機関または制度の利用につなげる等の支援を行いました。実績は下記の通りですが、昨年度と比べて、入所・退所相談及び実態把握件数が大幅に増加しています。

介護相談 1,367 件 入所・退所相談 143 件 認知症に関する相談 244 件 実態把握 186 件 介護保険外サービス 111 件 基本チェックリスト 19 件

3) 権利擁護業務

権利擁護事業は、地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につながる方法が見つからない等の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から等の支援を行いました。実績は下記の通りですが、昨年度より高齢者虐待件数は減少、措置件数は 5 件と微増、消費者被害が 14 件と大幅に増加しています。

高齢者虐待 53 件 成年後見制度 53 件 措置 5 件 消費者被害 14 件

4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業は、地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、介護支援専門員に対する後方支援や関係機関とのネットワーク構築による会議を行いました。

包括的・継続的ケアマネジメント支援 89 件

住吉北部・御影北部圏域内の事業所連絡会及び介護支援専門員情報交換会の開催

5) 困難事例対応

認知症や虐待等の困難事例に関して、ケアマネジャー等の担当者と随時カンファレンスを実施し、情報の共有を図り、適切に対応しました。複数の機関で対応する事例が大幅に増えています。

143 件

6) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント

生活上さまざまな課題を抱える高齢者に対して適切な支援を行なうことにより、フレイル予防を促すこと等、高齢者の自立した生活の支援を行いました。昨年度より増加しています。

543 件

7) 地域見守り活動推進事業

高齢者が地域で安心して生活ができるよう、あんしんすこやかセンターの専門職とチームアプローチを図りつつ、地域住民間による見守りができるコミュニティづくりを支援するとともに、介護予防の推進を図りました。新型コロナの影響がありましたが、可能な限り集まり様々なつどいの場に参加し後方支援に努めました。

○ 主な会議とコミュニティサポート支援事業等

・住吉中部及び住吉北部地域支え合い連絡会の開催

・わはは倶楽部 ふらっと住良本町 街会いおしゃべり会 住吉台椅子ヨガ教室等に参加

- 相談対応件数 102 件
- 住民主体活動の後方支援 108 件

#### 8) 広報・啓発

新型コロナの影響もありましたが、地域活動が再開され、個別の地域住民の方々や民生児童委員、関係機関等に配布する等、昨年度と大幅に多くの広報啓発を実施しました。

広報対象人数 6,277 人

#### 9) 包括的地域ネットワーク業務

新型コロナの影響がありましたが、東灘区やセンターが主催する研修やネットワーク会議また、地域が主催する会議が予定通り開催され、できる限り情報交換を図りました。

さらに地域ケア会議も5回開催し、関係機関との連携に努めました。

センター主催の会議	会議数	20 回	参加人数	140 人
行政等が主催の会議	会議数	62 回	参加職員数	90 人
地域主催の会議	会議数	183 回	参加職員数	292 人

#### 10) 介護予防普及啓発事業

高齢者及び介護保険事業者に対して介護予防に資する普及啓発を図ることを目的とする事業であります。住民主体の紫陽花くらぶや街会いおしゃべり会等を月1回開催。また神戸老人ホーム主催のわくわくウォークラリーも開催しました。また、神戸老人ホームや東神戸病院、地域福祉会あす、認知症予防ネット神戸が中心となり、つどいの場づくりとして、ふらっと住良本町を週1回（内月1回神戸老人ホームが担当）継続させています。

#### 11) 地域ケア会議の開催

地域ケア会議は地域包括ケアシステム（誰にでもやがて訪れる高齢期を安心して迎えるための地域づくり）を構築し、暮らしを豊かにするための話し合いの場であり、住吉本町地区で1回 住吉台地区で2回開催。また個別課題に関する会議を1回開催しました。

#### 12) 認知症地域支援推進事業

認知症の人の意見が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、①地域の実情に応じて医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐコーディネーターとしての役割や②地域における認知症の人と家族への支援体制の構築を図りました。特に、認知症神戸モデルの推進や複数のケースで認知症初期集中支援チームのオレンジチームと連携し、認知症早期発見や医療につながる支援をしました。

#### 13) 医療と介護の連携

個別の事例検討会やサービス担当者会議等に医師会・歯科医師会・薬剤師会・病院等医療関係者も参加され、利用者及び地域課題についての情報交換をしました。また、医療介護サポートセンターの研修や会議に参加して情報共有を図りました。

#### 14) 介護者支援

介護家族に対する身体的精神的負担の軽減・自助グループ育成を支援する目的に介護リフレッシュ教室については、5回開催することができました。参加人数は6.6人で微増となりましたが、少人数が続いているので、ケアマネジャーへの働きかけや新しい試みも必要な状況です。

#### 15) 法人における地域貢献会議

法人における地域貢献として、スタンプラリーである「わくわくウォークラリー」を2回企

画しました。また他法人と協力し、ふらっと住良本町を継続させ、つどいの場づくりに参画しました。

(3) 個人情報の保護と取り扱いについて

神戸市の運営基準に基づき、個人情報の保護に取り組みました。

(4) 神戸市への改善報告

書類を期限までに提出することを報告しました。

(5) センターへの苦情

今年度はなし。

## 5 会議等

### 1【職員会議】

月1回開催し、月間予定の確認及び事業報告及び事業計画の進捗状況及び職種別の情報交換を行いました。

### 2【センターミーティング・ケース検討会議】

月1回開催し、新規相談ケースや虐待等支援困難事例、ネットワーク支援の在り方について検討を行いました。

### 3 法人内の会議

【定例会議 安全管理対策委員会 法人企画部マーケティング会議】に参加しました。

## 6 資金収支

別紙令和5年度決算書の通りです。

## 7 その他 特になし。